

令和2年度第1回長崎市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和3年3月25日（木）16時00分～17時00分
- 2 場 所 第二応接室（市役所本館3階）
- 3 出席者 **【市長】**
田上市長
【教育委員会】
橋田教育長、中西委員、坂本委員、小原委員、桑原委員、松本委員
- 4 事務局 **【市長部局】**
企画財政部都市経営室長、同室主幹、同室係長
こども部子育て支援課長、同課課長補佐、同課企画係長、同課主事
こども部幼児課長、同部こどもみらい課長、こども健康課長
【教育委員会事務局】
教育総務部長、総務課長、同課課長補佐、同課総務係長
学校教育部長、同部学校教育課長、生徒指導係長
- 5 次 第
（1）開会
（2）内容
①報告事項
ア 令和3年度子どもに関する予算の主な内容 について
イ 令和3年度『長崎 LOVERS 育成プログラム』につながる取組みについて
②意見交換事項
ア 今後のテーマについて
（ア）長崎市教育大綱について
（3）閉会

6 議 事 以下のとおり

事務局 (市長部局)	<p>【16：00 開会】</p> <p>ただいまから、令和2年度第1回長崎市総合教育会議を開催します。配付しております次第に沿って、市長から進めさせていただきます。</p>
市長	<p>今日は報告事項が2つと意見交換事項が1つですが、時間が1時間と非常にタイトになっていますので、密度の濃い時間にしたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>では報告事項から、「令和3年度子どもに関する予算の主な内容について」と「令和3年度『長崎 LOVERS 育成プログラム』につながる取組みについて」併せて報告を行います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>【事務局説明】</p> <p>【教育委員会説明】</p>
市長	<p>それでは、今説明があった内容や資料等に記載の内容についてご質問・ご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>資料2の「長崎 LOVERS 育成プログラム」につながる取組み〔市長部局〕の1ページの6「子ども農山漁村交流体験」や8「親子環境教室」は、実施場所はどのようなところになりますか。</p>
事務局 (市長部局)	<p>6番の子ども農山漁村交流体験は市内の小中学校を対象に実施しているもので、農業者の方や漁業者の方とマッチングをして、体験活動をするというものです。</p>
委員	<p>学校に来られるのですか。</p>
事務局 (市長部局)	<p>実際に漁業者の方と現場で体験活動を行う事業になります。あと、親子環境教室ですけれども、山は7月4日に唐八景で、海が7月19日に飯香の浦海岸で75名、川は8月8日神浦川で90名が参加をして体験活動を実施しているところです。</p>

委 員	資料 1 の 2 番に部活動以外の芸術文化やスポーツ等の全国大会等について奨励金を交付する事業が新規で記載されていますが、部活動以外の小、中学生、高校生まで、どのような大会を想定されているのでしょうか。
事 務 局 (市長部局)	こちらは個人で参加する音楽コンクールなどが対象となっています。部活動で音楽コンクールなどに出場することもあります。個人で文化活動をされている方もいらっしゃいます。そういった方たちが全国大会等に出場される際に奨励金を交付させていただくものです。
委 員	部活動以外の運動クラブでも盛んに活動して欲しいと思っているのは文科省も含めそうだと思うのですが、例えばラグビースクールが全国大会に行くときなどにも奨励金が交付されるということでしょうか。
事 務 局 (教育委員会)	子どもたちのこういった活動に対する補助金というのは、教育委員会と市長部局とで、それぞれ補助制度を設けております。まず、小学校や中学校の部活動の大会出場に関する支援に関しては、教育委員会の方で支援を行っております。部活動以外の例えばサッカーのクラブチームなどに関しては、スポーツ振興課の方で支援を行っております。文化活動に関しては今までそういった制度を設けていなかったもので、今回新たに文化振興課で支援制度を設けたという経緯です。
市 長	スポーツでは支援を受けられるが、文化では支援を受けられないという状態を改善したものです。
委 員	なるほど。踊りとかピアノとかですね。ありがとうございました。
委 員	最後の方でキャリア教育の全体計画を、全校で個別に作成していくといった話があったかと思うのですが、長崎 LOVERS 育成プログラムに繋がる取組みの各事業のうちから、うちの学校はこれと、これと、これをやりますといったそういうイメージでしょうか。具体的にどんなイメージで全体計画というものが出てくるものなのか、イメージだけでも結構なのでお教えてください。
事 務 局 (教育委員会)	国が示すいわゆる学習指導要領に関わるキャリア教育の視点というのが 4 項目あります。この 4 項目に、長崎 LOVERS 育成プログラムの 2 項目

	<p>を加えて6項目を意識した全体計画を作成することを考えています。実際は、各学校ではそういった取り組みをすでに行っていますが、それがすべての教員にどの学年のこの取り組みはこの視点を意識した取り組みなんだよというのが、全体計画を作成することによって浸透していくと考えておりますので、全ての6項目を意識して組み込んでいくという風に考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>長崎市の長崎 LOVERS 育成プログラムというこういう表ありますよね、今課長言われたのは学習指導要領になる4項目が左の部分で、うちのプラスαが右の部分になっていますよね。だからこういったものがそれぞれ学校版で個別の授業であったりとかいろんな活動がこの中に入ってきているというようなイメージでとらえればいいですか。</p>
<p>事務局 (教育委員会)</p>	<p>そうです。</p>
<p>事務局 (教育委員会)</p>	<p>各学校で目標・目的を掲げて、その下に各学年の取組みというのを枝分かれして書くようになっている、普段からこの力をつけよう、こういう活動をしようという時に、こういう視点をポイントにしますよということで、表の中に1年生ではこの取組みを、2年生ではこの取組みをすることで、こういう力に繋がっていきますよというような書き方で、目に見える形のフローを作って図も作っていくような形を想定しております。</p>
<p>委員</p>	<p>キャリアパスポートという目新しいフレーズをお聞きしたんですけど、どのようなものでしょうか。</p>
<p>事務局 (教育委員会)</p>	<p>本年度から国の指示がありまして、だいたいA4一枚程度に例えば年度初めの自分の思いや今年の計画を書くようなものを一枚、それからあと職業体験とか、講師の方から講話を聞いてこういう学習をしました、その時こういう思いを持ちましたといった感じで、キャリア教育に関する特徴的な取組みについて、A4一枚程度に、自分の学習したこと、その時の思いや次につなげたいことなどを書き留めて、だいたい年間5枚か6枚くらいを記録していくこととなります。これを小学校1年生から高校3年生まで残していきます。</p> <p>様式につきましてもある程度国が示していますが、それを少し長崎版として手を加えて、各学校に送付をしているというところです。</p>

委 員	<p>小学校1年生からの分をファイリングして中学校に持ち上がり、中学校からファイリングして高校に持ち上がり、1冊で素晴らしいものが12年後に出来上がって、とても宝物になるのかなと思います。自分の変化も自分で確認することができる。いいものになりそうです。</p>
委 員	<p>長崎開港450周年記念事業の中で、子どもたちが長崎の海や長崎の歴史の素晴らしさに目を向けるという風な授業を計画されていると書いてあるんですが、具体的にどのようなことを今、されていますか。</p>
事 務 局 (市長部局)	<p>こちらの開港450周年記念事業ですけれども、季節ごとに柱となるイベントを実施するというのが基本ですが、春は帆船まつりでスタートアップイベント、夏は長崎みなと祭り、秋に長崎開港フェスタという事でステージイベントやワークショップとか展示とか、あと冬に海洋シンポジウムという事で、イベントをメインにやっていますが、通年事業として小学校で歴史パネル巡回展などを予定しております。</p>
委 員	<p>資料1の1ページ5番子ども食堂の開設応援ということ、子ども食堂開設応援アドバイザーという方を派遣されるという事ですが、このアドバイザーはどのような方がなられて、どのように実施されていくのか具体的に教えていただけたらと思います。</p>
事 務 局 (市長部局)	<p>長崎県の貧困対策のコーディネーターをされている方に委託をしまして、地域の方で子ども食堂をやってみたいという方がぼつぼつ市の方にも連絡があるんですけども、なかなか市の方で直接そういう運営をしたことがないものですから、実際やられている方を紹介したりしているのですが、そういう悩みにお答えするために、今回、この事業を考えまして、実際に子ども食堂をやってみたいという方については市の方に連絡をいただきまして、私どもがコーディネーターと調整をして派遣をするという仕組みになっております。</p>
委 員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
市 長	<p>長崎 LOVERS 育成プログラムで、他の市と違う個性的な名前も付け、内容も2項目付け加えて取り組んでいます。もし他の市から長崎市の独自の長崎らしい LOVERS 育成プログラムというのをやっているんだったら是非参考にしたい、例えば視察に来るといったら、どこのどういうことを見</p>

<p>事務局 (教育委員会)</p>	<p>せることになるのでしょうか。</p> <p>やはり軸になるのは体験活動だと思います。長崎体験という事で、長崎は海がありますので、ペーロン体験や漁業体験、すり身作りであったり、あるいは農業体験であったりその辺がやっぱり長崎独自の体験活動かなという風に考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>体験活動がやっぱり効果大きいという事なんですね。まだ、始まったばかりで効果というのもある意味なかなか見えにくい、定量的にはかりにくいと思います。子どもによっては、私は長崎に残るんだという子が出てきたとかといった定性的なことになるかもしれませんが、LOVERS プログラムを設けたことでどういう変化がおきたのかということ、今年じゃなくてもいいので、ぜひ来年でもこの時間に少し紹介してもらえたらと思います。</p> <p>それでは報告事項については終わって、次に意見交換事項の方に移りたいと思います。今後のテーマについて、それから長崎市の新教育大綱について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (市長部局)</p>	<p>【事務局説明】</p>
<p>市長</p>	<p>今、教育大綱の策定についての説明と、そのベースとなる総合計画についての説明も併せてありました。</p> <p>総合計画は、先程話があったように本来であれば 21 年度からスタートの予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により現在の第四次総合計画の計画期間を 1 年間延長し、第五次総合計画を 21 年度までかけて作って 22 年度からスタートすることとしております。教育大綱についても、総合計画と整合を図り第 2 期大綱は来年度策定したいということです。ご質問等ありましたら、お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>五次総の新しい総合計画の考え方なんですけど、4 ページの A 3 の横長の資料になりますが、この 4 ページにある体系図の中で、四次総と何が変わったのかというと、左側の目指す都市像の世界都市・人間都市は変わりません。その下のまちづくりの基本姿勢の「つながりと創造で新しい長崎へ」というのも変わりません。ただ、その右側、次の次の列にまちづくりの方針 A から H までありますけどもここが若干変わっているのと、その間</p>

<p>委員</p>	<p>にある目指す 2030 年の姿を新たに入れていきます。</p> <p>どういうイメージかという目指す都市像の世界都市、人間都市というのは北極星のようなもので、ここに永遠にたどり着くことはないだろうと思っています。ただ、次の地上にある目指す目標として、目指す 2030 年の姿というのを新たに置きました。北極星を目指す中で、あの山のあそこまで行こうという、旗を立てているところが 2030 年の姿と考えています。そこまで行くために何をしていたらいいのかというのをその右側に並べているという構造になっています。</p> <p>目指す 2030 年の姿の下にキーワードが並べてあります。これは時代の方向性を示すものということでお示ししているものですが、例えば QOL つまり生活の質については、いろいろ量を目指そうというのではなくて、豊かさって何だろう、人生って何だろうっていうことをコロナで考えさせられたので、今度の 10 年間というのは、そのことをきちんと考えていく 10 年間にしようと考えています。そして、豊かな暮らしを実現していけるような、そういうまちになっていこうということや、現代社会に喫緊の課題としてあげられているダイバーシティ（多様性）は、教育の場でも同様に求められていますが、そのような視点をもってまちづくりをしていこう。それからテクノロジーは科学、技術、デジタル化も含めてこれもこの 10 年間の大きな変化で、デジタル化だけではなくいろんな技術が入ってくるので、それを人間のために使える、そういうまちになっていこう、人にやさしいデジタル化というのを目指していこうという方向性であります。ほかにも、サステナビリティ、SDGs をはじめ今考えないといけない、この 10 年間が良ければいいというのではなくて、その後の時代まで使えるしくみというのを考えていかなければいけない。レジリエンスは、コロナで初めて世界の皆さんに知られるようになった言葉でもありますけども、しなやかな強さ、いろいろなことがあってもそこからまた立ち直っていけるというしなやかな強さを持ったまちになっていこうということキーワードとして考えながらそれぞれの分野で取り組んでいこうという部分が新しい総合計画の中に組み入れられた要素になります。これらの視点が今度の教育大綱にも大事な要素となっていくのかなと思っています。ご質問ご意見があったらお願いします。</p> <p>質問ではないのですが、これを見て、今、市長がおっしゃったように SDGs の考え方は 2030 年が一応目標期限ですね。ですからそれに向けて限りはないと思うんですけど、とりあえずそういう考え方が 4 ページなり 5 ページのところで反映されていていいなと思いました。</p>
-----------	---

	<p>また、今後 Society5.0 時代ですので、テクノロジーなどが、5 ページの「時代の大きな流れ」として認識されているのはいいなと思います。これは五次総案なので、これをうけた大綱の中に最近のトレンドではプログラミング教育とかあるいは従来は STEM 教育、サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、マスマティックスや、それに最近「A」つまりアートを入れて、芸術とか教養とか人間性などを踏まえ、教育大綱に反映できるといいのかなあと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>第五次総合計画のめざす 2030 年の姿の最後に「平和な世界、持続可能な世界の実現に貢献していく」というのが 4 番目に来ていますが、まちづくりの方針では、8 つあるうちの 2 番目に平和のテーマが来ています。未来の姿を語りかける時に、過去に長崎が経験したことを踏まえてこれから平和な世界を作っていくためにはどうしたらいいかを考えるのがとても大事なことだと思うんですが、未来のまちづくりという事から考えると、順番的にはまちづくりの方針のもう少し後の方が、個人的にはじっくりいくような気がしています。</p>
<p>事務局 (市長部局)</p>	<p>めざす 2030 年の姿に 4 つの柱を置いていますが、その一番下にこれこそまさしく SDG s を少し意識した表現となっておりますが、「平和な世界と持続可能な世界」を設定しております。まちづくりの方針は、8 つの柱で構成されており、現在は 2 番目に置いておりますけども、もともと第四次総合計画でも、平和の部分というのは上から 2 番目に置いていたこともあり、それを引き継いだものです。</p> <p>平和については、今から被爆者のいない時代が来るわけで、今ちょうど過渡期であると思います。そのような中、スポーツや文化も含めたいろんな切り口から平和を継承していくということを考えているところであり、いずれにしても長崎市にとっては今後も非常に大事な視点であると考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>ちょっと補足しますが、まちづくりの方針の並びは、おおよそ世界都市、人間都市という順番で並べています。世界都市というのは個性がある都市、世界に通用する都市といった部分もあって、世界都市の部分が上の方にきて、そのあとに、どのまちでもある意味共通に目指す部分である人間都市がきているという感じになっているのではないかと思います。ただ、めざす 2030 年の姿の部分は並列にしている、ここの部分で下の方にきて、そこはちょっと合っていない感じのところはご指摘の通りかと思いま</p>

事務局 (市長部局)	<p>す。</p> <p>五次総のまちづくりの方針のAからHの部分について、すべてのまちづくりの方針のめざす 2030 年の姿への関わり方については、例えばBの「平和を愛し平和の文化を育むまちを目指します」だけが平和な世界に関わる訳ではなくて、どの分野でも 2030 年の姿に貢献していくというイメージで今回組み立てをしております。補足させていただきます。</p>
市長	<p>来年度の教育総合会議のテーマになる部分ですので、何回かこれについてこれから議論していくことになると思うんですけども、今話している内容が基盤になると思いますので、ご質問があればお願いします。</p>
委員	<p>四次総から五次総への繋がりというのが 5 ページにあったと思うんですけども、おそらく五次総を作るにあたっては、四次総の各項目について達成具合がどの程度であるとか、この項目については達成していないからもうちょっとやらなきゃいけないよね、この項目は達成したからもっと発展させていこうということになっていくと思うんですが、その個別の評価というのは、かなり詳しく載ることになるのでしょうか。</p>
事務局 (市長部局)	<p>そうですね、これは総括的な資料になっておりますが、実際はそれぞれ方針の下にもっと詳細の個別施策があり、個別施策ごとに評価をしており、それを大きな視点でとりまとめたのがこの資料となっております。それぞれの左側の四次総の振り返りのところで、AからHのそれぞれの施策の方針別の総括的な評価をしております。例えばAであれば、「住む人が誇り、誰もが訪れたいまち」というところで、メリットデメリットというか出来たこと出来なかったことというのを書いているんですけども、こういうのが例えば時代の大きな流れの中で今後どの様なことが求められるかというところを、今後の方向性の中で更に今の長崎の個性に磨きをかけていくというのが大事だよとか、安全快適に過ごせる環境とか、やっぱりDMOを中心としてプロモーションをかけていくんだと、こういった課題を明確にしながら次の 10 年どういった事に方向性を持っていくんだというのを評価しながら体系づけていったという経緯があります。</p>
市長	<p>評価はすごく大事な部分なので、毎年策定した委員さんたちができるだけ関わっていただきながら、きちんと進んでいるのかということと毎年分野ごとに分科会を開きながら割と細かくチェックをしています。今回第四</p>

<p>市長</p>	<p>次総合計画が10年経ち、次の総合計画を策定するという事になったので、もう一度総括的にチェックをしてみようということで出てきたものの代表がこの5ページの左側に出ている分となります。そのような検証をしないと次の五次総が作れないので、その作業をしてここまでたどり着いたという感じです。</p> <p>他にご質問等ありませんか。</p> <p>四次総・五次総の話の踏まえると、やっぱり教育大綱も前回の分にちょっと筆を加えれば済むという話ではなくて、時代が変わりつつある中で、これと連動していろいろな変化をどのようにとらえるのかということと十分協議して反映させていくということが大きな論点になるんじゃないかなという感じがします。</p>
<p>委員</p>	<p>市長がおっしゃった件で、今感じるのが、人口減少に歯止めをかけるという意味でも長崎にとって大きなチャンスが来ているんじゃないかなと思います。例えば今まで、私事ではあるんですけど、うちのような零細企業というのは新卒の子を毎年採用していくことが難しいんですけど、コロナがあって、東京とかの会社に勤めるつもりだったのがコロナの影響で内定が取り消されて、地元で慌てて就職先を探しているということが実際あり、うちは今年、何十年ぶりかに新卒の子を採用しました。そういう意味では子どもたちの目も東京に向いているところから、地元へ、足元を見るというような形に変わってきているんじゃないかなという気がするものですから、そういった意味でもこの五次総というのは、長崎市としてはチャンスとして捉えられるのではないかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料5の1ページ目の基本構想策定の趣旨の中段のちょっと下に、「その収束時期も未だ不透明である中で、ポストコロナ社会に対する確実な見通し」とありますが、希望としてはポストとなればいいんですけど、ひょっとしてWITHのままだったらどうするんだというような感じもします。それも踏まえても、長崎はこのところ新規感染者はゼロが続いており、また熱研などがあり感染に対して強いまちということもできるでしょうし、クルーズ船の時にもいち早く対応できた、そういうようなところを、書く必要はないんですけど踏まえてもいいのかなと思います。ポストであってほしいんですけどWITHの時はどうするんだということが頭の隅っこにあった方がいいかなとは思っています。</p>

委 員	<p>先ほど子どもたちや若者を主役として作成していきたいというようなお話がありましたが、今からこの基本構想が主な事業等に組み込まれていくのかなと思いますが、漠然とまちづくりの方針Fを見た時、例えば高齢者とか障害者とか子どもたちとかこれらはすごくはっきり対象がわかると思うんですが、やはり歴史文化などについては狙うところが大きすぎてどこを狙っているのかというものを、もっと細かく計画におとしていくのかについて教えてください。</p>
事 務 局 (市長部局)	<p>現在は構想の段階ですが、この基本構想の下の階層になる基本計画を来年度作っていきます。今言われたような歴史文化についても、もう少し細かく取り組みの方向性をお示しするような作業に現在ちょうど着手しております。先ほどのスケジュールでいきますと11月くらいには完成させる予定としていることから、6月くらいには総合計画の基本計画のたたき台がある程度見えてきますので、それも参考にしながら今回の教育大綱の柱、骨子も整理していききたいなと思っております。</p>
市 長	<p>この教育大綱の策定は来年度の教育総合会議の大きなテーマになりますけども、他に何かこれも議論したいなというのが今の段階でありましたら、お願いいたします。</p>
教 育 長	<p>議論というか提案ですが、ギガスクールについておかげさまで環境は整いました。4月から学校で実践が始まりますので、来年度のどこかの時点で是非その学校の授業の風景などをご覧いただきたいと思います。</p> <p>場合によってはオンラインでもいいかとは思いますが、実際に現場に行くほうがいいかと思っています。来年度は教育大綱の件があるのでスケジュール的には難しい所があるとは思いますが、是非その中で組み込んでいただけたらと思います。</p>
事 務 局 (市長部局)	<p>教育委員会と調整して、どの学校に行くかも含めて調整させていただきたいと思います。</p>
市 長	<p>来年度は教育大綱をベースにしながらギガスクールについても現場を見て、どのようになっているのかという情報などもいただきたいと思います。ギガスクールは来年、再来年、その次の年度にと続いていくことになると思いますので、そこもまたいろいろ報告をいただければと思います。</p> <p>長崎市の総合教育会議はテーマを絞って議論をしていただき、実際の授</p>

業や教育現場の中にもいただいた意見を反映していくという方向で取り組んでいますので、来年度もそういう方向で行きたいと思いますが、一番基盤となる教育大綱が大きなテーマとなっていますので、また活発な議論をお願いできればと思います。どうもありがとうございました。

【17：00 閉会】